

川口市立アートギャラリーの事業の概要について

○アートギャラリーの設置目的・目指すもの

- (1) 川口市立アートギャラリーは、美術作品の創作体験や鑑賞、発表等の場を提供することにより、市民が美術に親しみ、豊かな文化生活の形成に寄与することを目的として、設置された施設。
- (2) 平成18年4月の開館以来、企画展や地域に根ざした事業を展開し、市民が新しい表現に出会い、多様な価値観を共有する場を目指す。
- (3) アートギャラリーの事業には5つの大きな柱があり、「企画展」「ワークショップ」「講座(実技講座、鑑賞講座)」「連携事業(地域連携、学校連携)」「貸しギャラリー」で、これらの5つの柱を中心とした事業を展開。
- (4) 市民参加型の美術施設として、多くの市民の方が芸術と触れ合い、学ぶことができる場を提供。

○アートギャラリー事業の『5つの大きな柱』

(1) 企画展事業

現代アートをはじめ、地域に根差した企画展を開催。また、市に寄贈された美術作品を紹介する特別展を開催。

(2) ワークショップ事業

年間を通して、子どもから大人まで楽しめる様々な企画を開催。また、造形だけでなく身体表現や鑑賞なども組み合わせたオリジナルのプログラムを実施。

(3) 各種講座事業

たのしい実技講座は、初心者の方から次のステップを目指す方まで気軽にものづくりを学び作品制作。また、やさしい鑑賞講座は、研究者や専門家を講師に招きアートや文化について「観る・知る・深める」ための講座を開催。

(4) 連携事業(地域連携・学校連携)

地域のアートスポットの情報発信に協力するほか、連携してイベントや展覧会などを開催。また、学校との連携を図りながら各種事業を実施。

(5) 貸しギャラリー事業

アート活動や作品の発表の場として、利用いただくために、展示室・スタジオの貸出し。